

効率化の取り組み事例

事例④ 資機材調達コストの低減

- 外部専門家の知見も活用しながら、競争発注のさらなる拡大、仕様の緩和・汎用化、契約条件の緩和などによりコスト低減の深掘りを図っています。
- さらには、複数年度一括発注・共同調達やVE提案制度による取引先の知見の活用など、発注方法の工夫も進めています。

<資機材調達における主な取り組み内容>

内容	対象
複数年度一括発注 ・複数年度分の数量をまとめて競争発注	スマートメーター、電線・ケーブルなど
共同調達 ・他電力やグループ会社とまとめた数量を競争発注	スマートメーター、直流電源装置、避雷器 など
VE※提案制度 ・コスト低減可能な技術的な提案を取引先から申し受け、設計や仕様に反映する制度 ※ VE : Value Engineering	社内システムの構築

スケールメリットを活用

<外部専門家の活用イメージ>

